

市立甲府病院 地域医療連携だより

令和2年
5月号
Vol.24

基本理念 「いのちに光を、心にやすらぎを」

いのちの大切さを重んじ、患者さんとの相互信頼の上に立った医療をめざします。



地域がん診療連携拠点病院

目次

| | |
|---------|-----|
| 副院長あいさつ | 1 |
| 新任医師紹介 | 2、3 |
| 外来担当医表 | 4 |

副院長あいさつ

「春陽の候、各医療機関の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。」という書き出しで始めようと思いましたが、新型コロナウイルスの流行により、世の中は医療だけでなく、社会的、経済的にも重たい雰囲気の新年度となってしまいました。各医療機関におかれましても対応に苦慮されていることと思います。

さて、今年度は、診療報酬改定の年であります。前回の改定での取り組みがさらに推進されるよう、今回の改定での主要テーマに、(1) 医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進、(2) 患者・国民にとって身近であって、安心・安全で質の高い医療の実現、(3) 医療機能の分化・強化、連携と地域包括ケアシステムの推進、(4) 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上を挙げています。この中で、医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進が重点課題となっておりますが、今後、時間外労働の上限規制が適用される予定であり、労働時間短縮に計画的に取り組んでいくことが必要となります。地域医療に関わることとしては、救急医療体制等の評価、医療従事者間・医療機関間の情報共有・連携の推進等があります。本院としましても、二次救急病院として救急患者の受け入れには積極的に取り組んでいきたいと思っております。紹介患者を含め、断らない医療を実践したいと思っております。また、地域医療連携の推進として、地域医療支援室、看護支援室のスタッフを増員・充実に図り対応しております。地域医療の健全な発展のためには、地域の先生方との密接な連携「顔の見える医療」が不可欠であります。今後も皆様方とともに地域医療の充実に努めてまいりたいと思っております。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、この地域医療連携だよりが皆様のお手許に届くところに新型コロナウイルスがどのような局面になっているかわかりませんが、少しでも終息に向かっていくことを願っています。



副院長
田邊 信明

市立甲府病院

地域医療支援室地域医療連携係

〒400-0832 山梨県甲府市増坪町 366 番地

T E L 055-244-1111 (内線) 2211、2212

F A X 055-220-2660

2020年 新任医師紹介

外科科長 若菜 弘幸 (わかな ひろゆき)

山梨大学附属病院、都留市立病院外科を経て、当院外科に赴任致しました。盆地を囲む山々を見渡せる府中に位置する市立甲府病院はまさに地域の中核病院だと感じています。外科領域では手術デバイスの発達と拡大視効果により日々鏡視下手術の進歩を実感していますが、一つ一つの手術を戦略性を持って遂行すること、それを積み重ね自身の技術を洗練することで、低侵襲かつ繊細な治療を提供できる外科医でありたいと考えています。患者様の日常を支える地域医療の一端を担えるよう努めて参りますので、よろしくお願いいたします。



形成外科科長 池上 みのり (いけがみ みのり)

形成外科に赴任いたしました池上みのりと申します。出身地は大阪府堺市、宮崎医科大学卒業、部活は剣道です。信大医学部附属病院の他は同院救急部、昭和伊南病院、長野市民病院、長野県立こども病院、相沢病院、信州上田医療センター、飯田市立病院で勤務してきました。19年目になります。一人医長はできることも限られていますが、すこしでも役に立てるよう精進したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



総合内科医師 佐藤 友哉 (さとう ともや)

総合内科に赴任いたしました。佐藤友哉です。生まれが札幌で育ちが千葉となります。一度大学進学で神奈川で暮らした後、再受験し山梨大学医学部に進学し卒業しました。研修医終了後は県内の内科プログラムにて県立中央病院で専門研修した後に再度広く内科を診たいと思い総合内科を志望させて頂きました。日々学ばせて頂いております。少しでも病院にとって有益な人間であるよう、日々精進させて頂きますので宜しくお願い致します。



呼吸器内科医師 古谷 智 (ふるや さとし)

呼吸器内科に赴任いたしました古谷智と申します。山梨県北杜市出身で、山梨大学医学部卒業後、山梨大学医学部附属病院で2年間研修し、山梨大学医学部附属病院第二内科に入局しました。まだまだ勉強中でありご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、患者様のためになれるよう努力していく所存です。どうかよろしくお願いいたします。



消化器内科医師 竹中 優美(たけなか ゆみ)

消化器内科に赴任いたしました竹中優美と申します。出身は愛知県で山梨大学医学部を卒業した後、山梨大学附属病院にて2年間研修を修了いたしました。その後同大学附属病院第一内科に入局し、本年3月まで1年間勤務しておりました。研鑽を積んでいる最中ではありますが、患者様のお役に少しでも立てるよう頑張ります。ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。



放射線診断科医師 城野 悠志(じょうの ひさし)

放射線診断科に赴任しました城野悠志と申します。山梨大学を卒業し、同大附属病院放射線科に入局しました。医師になり5年目となります。CT、MRIの画像診断およびIVR(血管内治療や画像ガイド下生検/ドレナージ)を担当いたします。まだまだ未熟で至らない点は多々ありますが、ひとつひとつの症例を大切に丁寧な診療を心がけ、少しでも患者さんの医療に貢献できるよう、他診療科の先生方から信頼を置かれるよう日々精進してまいります。よろしくお願いいたします。



外科医師 古谷 元宏(ふるや もとひろ)

外科に赴任いたしました古谷元宏と申します。山梨大学医学部を卒業後、初期研修を経て、山梨大学医学部附属病院第一外科に入局いたしました。この4月から卒後5年目、外科3年目となります。まだまだ勉強中の身でご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、皆様と協力して地域連携に貢献できるよう精一杯努めて参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



整形外科医師 上矢 真大(うわや まさひろ)

整形外科に赴任いたしました上矢真大と申します。甲府市出身で、自治医科大学を卒業後、山梨県立中央病院にて2年間の初期研修を修了いたしました。まだまだ勉強中の身ではありますが、いずれは地元山梨の僻地医療病院に従事していくこととなりますので、そのためにも地域医療連携に力をいれている当院の医療活動に少しでも貢献できるよう精進していく所存です。よろしくお願いいたします。



脳神経外科医師 齊藤 龍(さいとう りゅう)

脳神経外科に赴任いたしました齊藤龍と申します。山梨県甲府市出身で、山梨大学医学部卒業後、沼津市立病院で1年、山梨大学医学部附属病院で1年の初期研修を修了後、山梨大学医学部附属病院脳神経外科に入局いたしました。3月まで大学病院で勤務しておりました。少しでも地域医療に貢献できるよう尽力して参ります。何卒よろしくお願いいたします。

